



多心光ファイバ融着接続機

TYPE-71VS/M4/M8

管理者用メニュー
操作説明書



目次


はじめに	1
管理者用メニューアクセス方法	1
管理者用メニュー詳細	2
設定変更方法	4
接続条件の登録(表示)	5
接続条件の登録解除方法	7
セキュリティ機能	8

はじめに

管理者はパスコードを設定することで、機能へのアクセスを制限することが可能です。

管理者用メニューアクセス方法




1: メニュー画面で、ログインアイコン () を押します。



パスコード入力画面

管理者用メニューパスコード『0000』

2: パスコード『0000』を押して、OK アイコン () を押します。



3: パスコードが正しい場合、メニュー画面が再度表示されます。

4: 管理者用メニューでは、通常メニューでは表示されない接続条件、補強条件の項目が表示され、変更できます。(次ページ以降に示します)
各項目の変更方法については、取扱説明書の 4--6 ページを参照して下さい。

ワンポイントアドバイス

一度パスコードを入力すると、電源を切るまではパスコードを再入力せず管理者用メニュー画面にアクセスできます。電源を再投入した時は作業員用の通常メニューに戻っています。

管理者用メニュー詳細

ページ	接続条件設定
1/4	＜放電時間＞ 融着放電の時間（数値入力）
	＜予備放電時間＞ 融着放電開始から、ファイバ押し込み開始までの時間（数値入力）
	＜突き合わせ間隔＞ 融着放電開始前の、光ファイバ同士の端面間隔（数値入力）
	＜押し込み量＞ 融着放電時に光ファイバを押し込む量（数値入力）
	＜放電パワー＞ 放電の強度を表します。[Standard + XX]と表示されます。自動放電補正機能や放電テストにより自動的に設定されますので、通常は変更する必要はありません。「Standard」は補正された放電パワーを意味しており、後の数値はStandardに対して手動で増減させることができます。（数値入力）
	＜軸ずれ許容値＞ 融着前軸ずれ検査時の軸ずれ規格を変更・設定します。 規格値を超えると検査時に注意を促します。
	＜カット規格値＞ 光ファイバを押し込んだ後に引き戻す、引き戻し接続で使用する項目。光ファイバを引き戻す量（数値入力）
2/4	＜端面間隔許容値＞ 融着前端面検査時の端面間隔規格を変更・設定します。 規格値を超えると検査時に注意を促します。
	＜端面不揃い許容値＞ 融着前端面検査時の端面不揃い規格を変更・設定します。 規格値を超えると検査時に注意を促します。
3/4	＜推定ロス規格値＞ この値以上の推定ロスが計測された場合、融着機が警告を発します。（数値入力）
	＜放電中心位置＞ 放電中心を設定します。自動放電補正機能や放電テストにより自動的に設定されますので、通常は変更する必要はありませんが、異種ファイバの接続などにおいて接続位置を手入力に変更したい場合に設定します。数値が小さいほど左側になります。（数値入力）
	＜接続条件名称＞ 接続する心線数・心線種類を表します。
	＜放電画像補正機能＞ 放電状態に適した放電パワーに補正する機能です。有効にするためには「放電パワー環境補正機能」をONに設定してください。
4/4	＜放電パワー環境補正機能＞ 放電パワーを環境状態に適した値に補整する機能です。

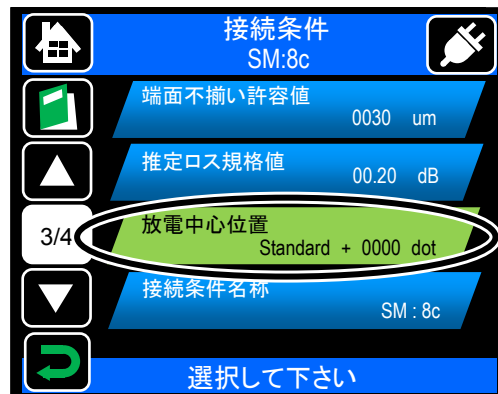
ページ	補強条件設定
1/2	<ヒータ加熱温度 A>
	加熱期間初期の設定加熱温度（数値入力）
	<ヒータ加熱時間 A>
	加熱期間初期の設定加熱温度を保持する時間（数値入力）
	<ヒータ加熱温度 B>
	加熱期間中期の設定加熱温度（数値入力）
	<ヒータ加熱時間 B>
	加熱期間中期の設定加熱温度を保持する時間（数値入力）
2/2	<ヒータ終了温度>
	冷却ファンによる冷却開始後、加熱終了する温度（数値入力）
	<スリーブ名称>
	使用する補強スリーブの名称を変更することができます。（文字入力）
	<補強名称>
補強条件の名称を変更することができます。（文字入力）	

設定変更方法

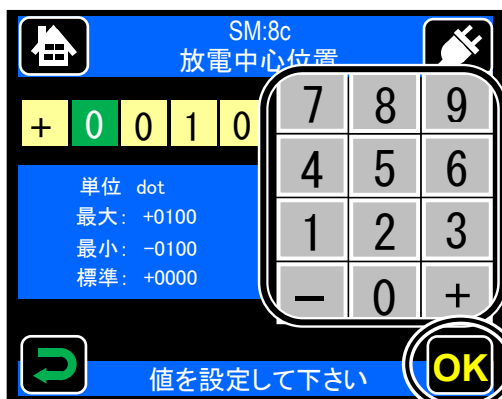
例 1 放電中心位置を変更する。(数値の変更方法)



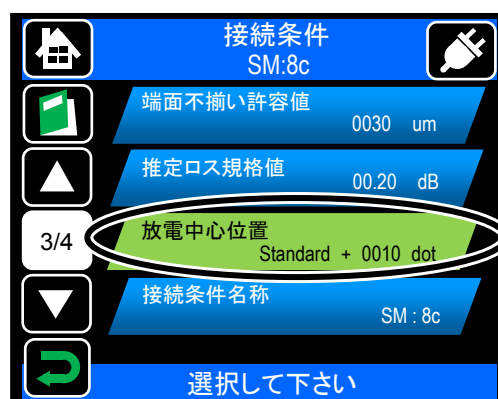
1: 1 ページを参照して管理者用メニューにアクセスします。
取扱説明書の 4-6 ページを参照し、接続条件設定画面を表示します。



2: 改ページアイコン(▼)を使って 3 ページに移動し、「放電中心位置」項目を選択します。

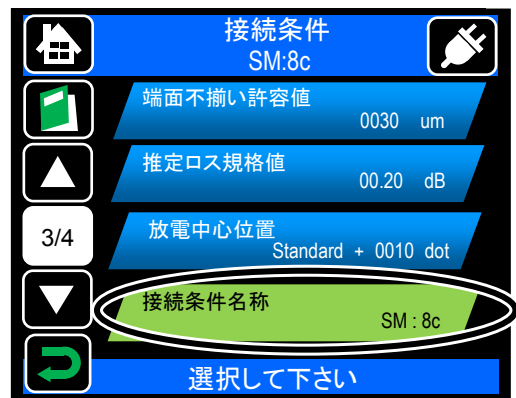


3: 数値アイコンを使って数値を入力し、OK アイコン(OK)を押してください。



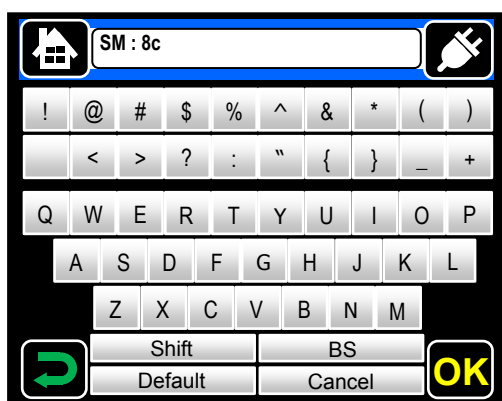
4: 「放電中心位置」の数値が変更されます。

例 2 接続条件名称を変更する。

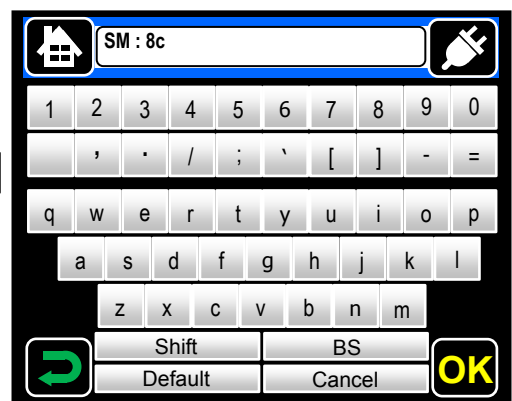


1: 1 ページを参照して管理者用メニューにアクセスします。
取扱説明書の 4-6 ページを参照し、接続条件設定画面を表示します。

2: 改ページアイコン(▼)を使って
3 ページに移動し、「接続条件名称」項目を選択します。



Shift



3: 画面に表示されるキーボードを使って、名称を入力します。
4: 入力が完了したら「OK」を押してください。

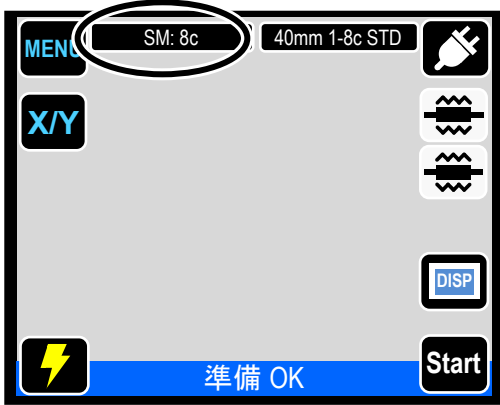
接続条件の登録(表示)

接続条件は工場出荷時に既に登録されています。登録されている接続条件以外を使用したい場合、その接続条件を登録することによって画面に表示され、使用可能となります。

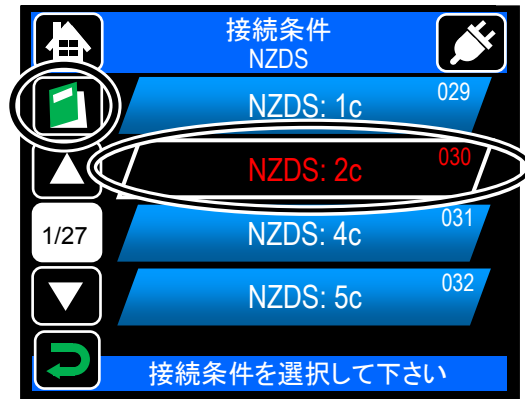
ワンポイントアドバイス


登録されている接続条件は、画面上ではその条件の背景が青であり、選択した時に背景が緑になります。

登録されていない接続条件は、画面上ではその条件の背景が黒であり、選択した時に背景が赤になります。



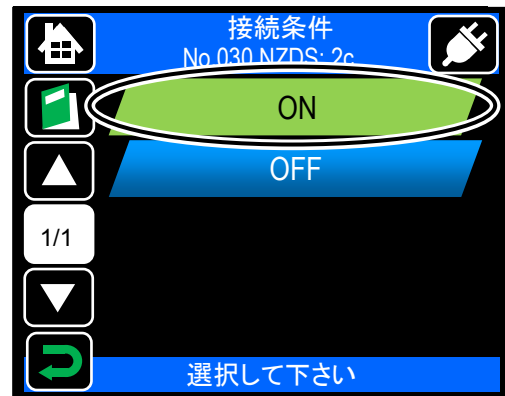
1: 「SM:8c」条件が選択されています。始めに接続条件選択画面に移動します。この例では「NZDS」カテゴリを選択します。



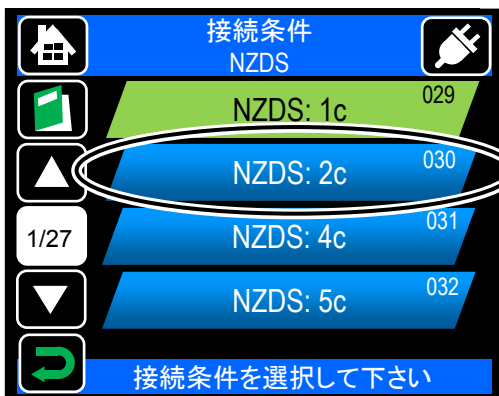
2: 背景が黒(未登録)の接続条件の中で、登録したい条件を選択します。選択された接続条件は赤色で表示されます。次に設定アイコン()を押します。



3: 「登録」を選択します。



4: 接続条件を登録する場合は「ON」を選択してください。

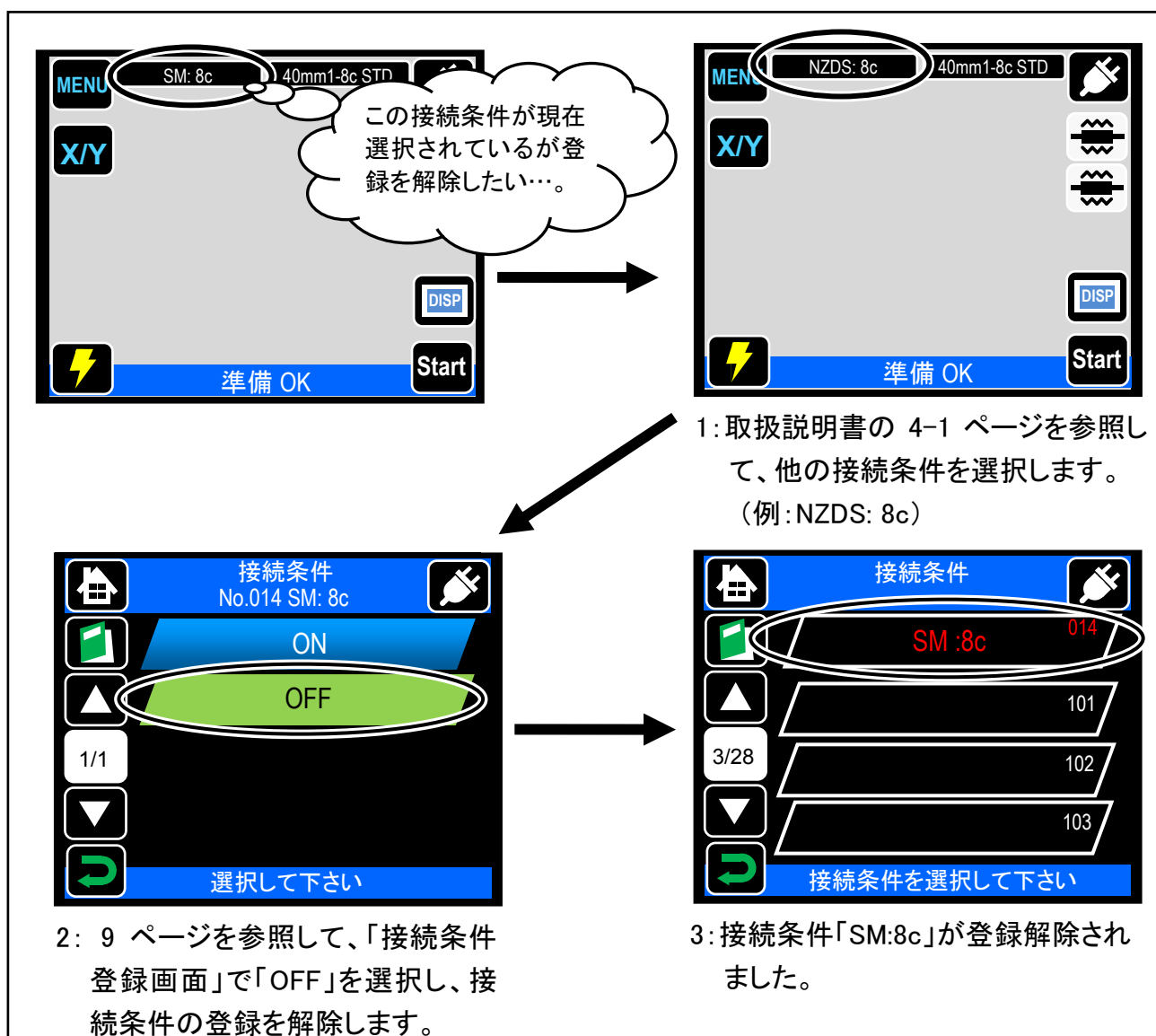


5: 背景は黒から青に変化します。

登録された接続条件は作業用メニュー画面でも確認する事が出来ます。
また、融着機の電源を切ってもその接続条件は登録された状態になっています。

接続条件の登録解除方法

登録された接続条件は、接続条件として選択されているままでは登録を解除できません。まず他の接続条件を選択しなおし、その後登録を解除して下さい。




ワンポイントアドバイス

管理者用メニューでは、接続条件と同じ方法で補強条件の登録、設定変更、補強スリーブ名称の変更等ができます。管理者用メニューへ進み、取扱説明書の 4-6 ページを参照して補強条件設定画面を表示してください。次に、4 から 5 ページを参照してください。

セキュリティ機能

セキュリティ機能を設定すると、任意の指定日以降に TYPE-71M を起動させる際、起動パスワードを要求することができます。



メニュー画面でセキュリティアイコン () を押し、セキュリティ画面に移動します。







「セキュリティ」を選択し、次の画面で「設定」を選択します。

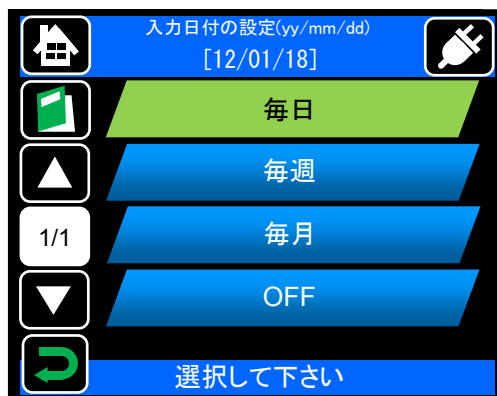


起動パスワード設定画面が表示されます。任意の4桁のパスワードを設定してください。(例:1234)



カレンダー上で、起動パスワードを要求する日を指定します。画面上の任意の日付を押して選択し、「OK」を押してください。過去の日付を設定することはできません。

月選択アイコン()または年選択アイコン() を押し、改ページアイコン( 、 ) を押すとカレンダーを変更することができます。



セキュリティ画面で「繰り返し設定」を選択すると、起動パスワード要求を設定した日付以降、一定期間(毎日/毎週/毎月)ごとに起動パスワードを要求する設定ができます。

起動パスワードを忘れると起動できなくなります。ご注意ください。
万一、起動パスワードをお忘れの場合は、当社保守サービス窓口にお問い合わせください。

保守サービス部門お問い合わせ先

<http://www.optigate.jp>

SEI オプティフロンティア株式会社

横浜工場 お客様サービスセンター

〒244-8589 神奈川県横浜市栄区田谷町1番地

フリーダイヤル:0120-853-723 TEL:045-853-7111 FAX:045-853-3506